

平成24年 5月31日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第1班 班長 川上 泉

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5月 11日（金） 19時00分～20時30分
開催場所	出部地区 「 出部公民館 」
出席議員	川上泉、鳥越孝太郎、坊野公治、大鳴二郎、水野忠範、乗藤俊紀
参加者数	47名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 芳井町は防災無線があるのでお知らせくんは不要。

回答 お知らせくんは、防災だけではなく様々な情報伝達もあり全市内統一が望ましい。

質問 議会への提案箱は匿名ではダメなのか。

回答 匿名でも建設的意見は取り上げる方向だが返答のこともあるので記名してほしい。

質問 市民の声を聴く会に地元議員がなぜいない。

回答 今後の検討課題である。

質問 一般質問は最後お願いで終わらず必ず答弁を求めること。

原案を修正なしで通しているがなぜか。

回答 審議の結果である。議案によって賛成反対に分かれることも当然である。

〈別紙2〉

※未回答

質問 NTT光が井原市へ入っていない。今後どうなるのか。

回答 後で回答する。

質問 議員年金が廃止になったことによって井原市が7000万円支払っているがなぜか。

回答 後で回答する。

質問 議員報酬月額35万円は高い。下げるべきである。

回答 慎重に審議した結果である。

質問 四季が丘から出部小学校へのスクールバスの存続を求める。

議会としてどう考えているか。

回答 後で回答する。

質問 井原市は指定管理者にそれぞれいくら払っているのか。

回答 後で回答する。

平成24年 5月31日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第1班 班長 川上 泉

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5月 15日（火） 19時30分～21時00分
開催場所	青野地区 「 JA岡山西井原北支店青野店舗 」
出席議員	川上泉、鳥越孝太郎、坊野公治、大鳴二郎、水野忠範、乗藤俊紀
参加者数	73名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 生活保護費が多い。どういうことか。

回答 約6割が医療費を占めている。

質問 四季が丘へのグラウンドゴルフ場建設の経緯は。なぜ6億円も掛けたのか。

回答 健康増進施設である。約4億円は用地代。

質問 井原鉄道が倉敷駅へ直接乗り入れることはできないのか。

回答 沿線市町がJRへお願いしているが実現できていない。

質問 汚物を自宅近くの山林に捨てられ悪臭に悩んでいる。どうにかしてほしい。

回答 環境課が対応済み。

〈別紙2〉

※未回答

質問 井原パートナーシッププロジェクト事業で13地区へ計30万 合計390万円の
予算だが全体では643万円計上している。この差は何か。

回答 人件費（時間手当）か。後で回答する。

質問 青野は民生委員が3人だが増やして週1回は見回りをしてほしい。

回答 後で回答する。

質問 まちづくり協議会へ来年度以降どのような予算が付くのか。

回答 後で回答する。

質問 新規就農者の住居の問題で一人でも入れる市営住宅や作業場付の市営住宅を建てて
ほしい。空き家は使いにくい。

回答 後で回答する。

質問 市道の草刈りを県道並みに年2回行ってほしい。

回答 後で回答する。

質問 危険木や支障木の撤去を地元が行った場合補助が出るのか。

回答 後で回答する。

質問 婚活にもっと力を入れてほしい。岡山市を見習え。

回答 後で回答する。

質問 有害鳥獣駆除のワナの免許を取ってどこまでできるのか。

回答 後で回答する。

平成24年 5月31日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第1班 班長 川上 泉

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5月 20日（日） 19時00分～20時30分
開催場所	木之子地区 「 木之子公民館 」
出席議員	川上泉、鳥越孝太郎、坊野公治、大鳴二郎、水野忠範、乗藤俊紀
参加者数	43名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 山砂地区の土砂崩れ危険箇所の改善を。

回答 翌日 担当課が本人に直接会って話を聞く。

質問 四季が丘のグラウンドゴルフ場は、誰が管理するのか。

回答 市の直営である。井原市グラウンドゴルフ協会と井原市シルバー人材センターが管理する。

質問 介護保険はいつから改正するのか。

回答 本年4月1日から改正された。

質問 質問しない議員がいるがそれで良いのか。

回答 議員個々の考えである。

質問 議員定数 報酬に関して学識経験者の意見とあるがそれは誰か。

回答 早稲田大学マニフェスト研究所の中村先生である。

質問 議員定数に関して学識経験者はどう言ったのか。

回答 現行の22人で頑張れる議会をつくったらどうですか。

〈別紙2〉

※未回答

質問 予約はいつから受け付けるのか。

回答

質問 井原市は、どういう街を目指しているのか。予算からは見えてこない。

回答 後で回答する。

質問 議員定数・報酬とも少ない方が良い。

回答 現段階では現状維持と決まった。

質問 市道井原北川線中島ガラス周辺に歩道がない。早急に設置を。又雨天に道路に水溜りができ歩行者に水が掛かる。改善を。

回答 担当課に伝える。

質問 小田川土手（木之子町下原）藤井運送付近の舗装に亀裂がある。改善を。

回答 担当課に伝える。

質問 山崩れを想定した避難訓練は行わないのか。

回答 担当課に伝える。

質問 井原市は救急体制が大変悪い。改善を。

回答 医師不足が深刻で大変憂慮している。

様式第1号（第11条関係）

平成24年 5 月 30 日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第2班 班長 川 上 武 徳

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5 月 13 日（日）19時30分～21時00分
開催場所	県主地区 「 県主公民館 」
出席議員	川上武徳・藤原浩司・藤原正己・高田正弘・河合建志・三輪順治
参加者数	18 名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備 考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 ○○さん宅の前の道路を拡張して欲しい。1年も前に市役所には言っている、市長も知っていますよ!! どうなっていますか。

回答 市道向山立岩線道路修繕工事（西方町向山地内）

◎日程

【用地測量】5月17日（木）入札予定 工期：7月末頃の予定

委託概要：延長L=60.0m W=4.0m

【用地取得】8月末予定（用地については承諾済）

【工事発注】9月末発注予定（工事は年次的に施行する予定）

以上により、道路修繕事業を予定しております。

(5/15に本人へ回答済み!!)

質問 議員定数・議員報酬についてですが、報酬に対して何を協議したのか?市長・職員は給与を削減したのに議員は報酬を削減しないのか、慎重に議論した結果が現状維持、何故改革しないのか。

回答 近隣の市町村の状況も踏まえて幾度となく協議しました。合併の折りより半数です。議員が少なくなれば市民の声が市政に届かないという事もあり現状維持にしました。報酬に関しても平成8年から変わっていない。市長が報酬審議会で決めます、報酬は議員では決められません、近隣の人口等で考えると今の報酬が妥当であろうと言う事で落ち着きました。市民の声を吸収反映させるのが今の議会なので議員が減ると地域の声が反映されなくなります。

質問 おらが村の市会議員が地元の質問をしないで欲しい、井原市全体での質問をして欲しい。農業委員は井原10人、芳井6人、美星が4人そのぐらいで議員はいいと思う。協働のまちづくりが進んで来ると市議会議員は要らなくなってくる。

各地区の協議会長や公民館長がいれば議員の定数は削減しても良いと思う。

質問 協働の町づくり審議会を開き部会を開きました、今後の取組では先程の件も起こりうることに成るのかなと思っています!!

回答 議員定数については11回にわたる特別委員会での審議を踏まえ、議員全員からなる全員協議会で現状維持との結論を得ました、本日の皆様の声は、議会と首長、地区代表の関係を再度精査し関係部署とも協議し持ち帰って今後の活動を考えますので今日のところはこれ以上お答えは出来ませんが、宜しくおねがいします。

〈別紙2〉

未回答

質問 太陽光補助金は一軒に対して、いくらなのか?総額では判らない。

回答 執行部へ問い合わせ早急に回答いたします

質問 井原市の結婚相談所の仕事をしている、笠岡・倉敷等3市で話があるが、井原市では結婚相談所への補助金が平成18年度は15万で、19年は13万5千円、23年度は7万5千円、年を追うごとに金額が少なくなる、現在結婚相談員は9人で運営しているが今、年75,000円の補助しかない、笠岡・倉敷等3市では830万円もの補助が出ている!!新婚生活を井原市でしてくれるのに。我々は自費で各自1万円を出して運営している事実がある、人口減の井原市ではもっと積極的に取り組んで頂けないか。去年は3件の成婚実績、今年は4件の見合い予定、人口を増やそうと一生懸命頑張っている我々の予算を何故、削減するのか?(6/8に会議があり報告するので回答をお願いします)

回答 早速持ち帰ってご回答を致します。

質問 市民会館の主宰の施設振興公社というものを作ったが今は解散していると思います。新郎・新婦共に40を越えた方が地元で披露宴をするのに市民会館はいい対応が出来ない。最低限度の小道具を用意をして宴が出来るような対応が出来ないか。直近に3件の結婚の話がある、井原にお嫁に来てくれる人がいるので是非市民会館で最低現の婚礼が出来るようにして頂けないか。(鏡獅子の間で5/20婚礼あり)

回答 早速持ち帰ってご回答を致します。

質問 市債は借金だが誰かが買っているのか?16億7800万はだんだん増えていくのか?借金を隠しているのではないか?市債は買えないのか?

回答 早速持ち帰ってご回答を致します。

質問 防災訓練が訓練になっていない、ヘルメットも着用していない。市の職員もヘルメットくらいは用意しておかないと、長靴もはいていなかったし革靴で訓練になるのか?やはり市の職員自らがヘルメット・長靴くらいは用意しておかないと訓練にならないのではないか?緊急告知システムとかにお金を掛けるのもいいがヘルメットや長靴くらいは自前で揃えた方がいいと思います。

回答 早速持ち帰ってご回答を致します。

質問 議案の説明がよく判らないので井原放送でテロップを入れていただければ判りやすいのでお願いします。昨年の担当班に言っていますが、一回目の市民の声を聴く会では回答が無かったので質問させて頂きました。

回答 大変いい重要なお提言なので早急に実現できますようにしたいと思います。

様式第1号（第11条関係）

平成24年 5 月 30 日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第2班 班長 川 上 武 徳

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5 月 15 日（火）19時30分～21時00分
開催場所	高屋地区 「 高屋公民館 」
出席議員	藤原浩司・藤原正己・高田正弘・河合建志・三輪順治
参加者数	22 名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 子宮頸癌ワクチンで接種された後、失神された方は大勢いる。

回答 この接種は厚生労働省の国の指針であり任意接種なので受けない方もいらっしゃいますので危険性については専門的な知見もいりますので正しい情報として市を通して議会としてきちっと説明して行きたいと思います。

質問 専門的な分野からの知識を得てと言う言葉は、何処をもって専門的知識と言っているのですか？

回答 例が諸外国で死亡の例もある、予防接種そのものがただちに有効であるかどうかインフルエンザのように接種しても重症化を軽減するような予防接種もあり知見と言うか疫学的な調査は井原市だけでは出来ない。厚生労働省も含め調査期間も立ち上がっていますので、そういった知見もどんどん情報を入れながらかわっている、専門的といったのはそういったものも含めて井原市として、もし危険性があるとすれば、皆さんに正しく伝え、そのうえで選択して頂く接種をするかしないか選択して頂く、専門的と言うのは全国的な国の意向をベースに考えていき、議会としても科学者医学者の知見をもとに考え執行部の意見も参考にして進めて行くと言うことです。

質問 歳出のほうで予算を増やすと言う事は予算が多く掛かる、では、予算を減したのは何なのか、減したものは何なのか？

回答 内部で事務事業評価制度と言ったものが有り、事業が本当に必要なものか、効果が上がっているのか、将来性があるかなどいろんな視点で自己評価しています、補助金なんかは、廃止を基本にたちまちやっていますが、ずっとへしている。増えることもあれば減るものもある、平行で進めていくものもある、市民生活にかかわりの深いものは議会としても必要性も含めて議論する中で、負に落ちれば廃止として可決していく、現実問題にはあると言うことです。

質問 確かに新しいものを作るとは何かの予算を削っていかなければいけない、問題はそこなんです。新しいものをつくって特色を出そうとするのは判るが、本当にやめていいものかどうか、そういうものも白として静止していかないと判らない。ここに予算組みが有りますが、去年の予算はいくらだったのか、去年いくら予算を組んでいるから今年はこのようになります、尚且つこういう特色も新しいものをやっています、こう言うことで廃止しています。というのがしょういするのではないのですか、去年いくら予算を組んでいるから今年是这样なりますと、こういう形で新しいものをやっ

ます、こういう形だから廃止したと言う説明がないと判らない。ちなみに去年の予算はいくらですか、さっき説明者が言ったように自主財源が少ないということを考えて予算を考えて予算を組まないと、どんどん増やしていったのでは何にもならないと思います、何処へ負担がくるのか、井原市の市民税は高い、その辺はどうなのですか、笠岡はいくら福山はいくら、井原がいくら、ご存知か、私は会社が福山ですが、市民税は井原市に払っています、福山の人は福山に払っています。その辺はご存知ですか。議員は、一番大事なのはそこなんです、値段を上げたり下げたりするのも大事ですがよそがいくらでやっているからこうなんだと、自主財源を上げていくならそこらを調べて頂かないと、私は本当は市民税が少ないのいいが必要であれば皆で協力していかなければならないと、今後そのあたりを報告して詳しく説明して頂ければいいと思います。

回答 資料の作り方も判りやすい資料を工夫するようにしていきます。

質問 少子化が問題になっているが少子化も大変だが、高校を卒業して大学へ行って帰ってきたくても職が無い、井原工業団地が木之子へ一つ有るが企業の誘致とかで井原市が潤うようなことをしていますか、別に大きな工業団地を作って企業をよばないとかでない市民ばっかしが税金を払ったり、私のような田舎でも都市計画税がゴボッと来るし、固定資産税は仕方ないが、高屋小学校から奥に何も無いのに都市計画税を払ったり使わない土地に下水道の m² 500 円払ったり、なんか矛盾が多い、それよりかはよそから企業を入れて市民の軽減と言うのを少し考えて欲しいと思いますがどうですか。

回答 議会としては、雇用の場、企業誘致とかで一般質問でも良く出ている議案ですが矢掛町は何社も企業が来ているが井原市は来ていないと多く批判されているところです、矢掛の良いところはオーダーメイド方式で相手の欲しいだけの面積を用意して企業誘致をして成功しているようです。井原市も同じようにすればよいのですが中々上手くいかないようです。それから先程の質問に関連するのですが、今度比較表を過去 3~5 年大事なものは税の収入、支出についての比較表が必要だと思います。ここ 5 年間くらい 190 億~200 億の推移を保っています、税金については平成 18~20 年までで少しずつ減っていますが、40 億から 50 億を推移していますが少しずつ減っています、その原因は企業誘致がしっかり出来てなくて雇用の場が無いということは認識していますが、海外へ進出して行く企業がある中で新規で何か来て頂きたいということで議会の方も市長を始め執行部も努力をしているが結果がでていないということです。

質問 井原市は災害が無いからアピールしていくことが必要ではないか、興譲館高校の野球場は個人で建設しているが、どんどん進んでいるのに市はどうして出来ないのか、

市の方が強いでしょ、帰ってくる若者が居ないと言う事は消防団とかに大きく影響するのではないかと、高屋でも一度出て行った若者は二度と帰ってこない、地域の活性化にも影響するのではないかと。若者をどうやって帰ってこさせるかと言う事をやって頂きたい。

回答 いいサイクルで右肩上がりで進んで行けばいいのですが今は、維持するのがやっと、右肩下がりというのが状況で、そうした事が消防団員の確保、子供が減ってくる、若者も減る、税収も減ってくるというのが現実、企業誘致を積極的に進めていかなければならないと思います。

質問 行き当たりばったりをしないで期間を決めて、その成果をだして頂きたい。

回答 総務費の所で説明しましたが、井原暮らしの住宅新築助成金であったり定住促進であったり井原市の中に定住促進課を新設しました。そこへ4,000万の予算をつけ市内業者でしたら100万円市外業者で50万円ということもしている。

四季が丘団地へいろんな補助事業をしていて出来るだけ新しくきて頂くようにしている。約6割が四季が丘団地は市外の方であります。井原へきて頂く、井原出身の方は井原へ定住して頂く為に取り組んでいますが企業誘致が出来ていないのは事実です。

私学助成の観点から受益者負担税、都市計画税とかの税は国の法律で都市計画区域では目的税として負担していただかなければいけない、ご提言されたことにつきましては出来る限り早急にお答えします。

質問 先程、議員定数は22人と言われましたが、昨年基本条例を作られたが議員自身が身を正し、身を削る姿勢をしめしたがその後の姿は、宮地氏の問責決議、乗藤氏の辞職決議案等、結局の乗藤氏は辞められなかったが、後で皆が厳しく行こうと、今出来ないものが何で厳しく出来るのか、定数の問題ですが、市民の多くは定数を削減して欲しいと言っているのに、笠岡は22人でそのくらいで良かろうと甘く考えている。基本条例は身を正し、身を削るのなら厳しく定数を削減して欲しい。たとえば報酬は私は何も言いませんが、それなりの仕事をして頂ければいいですが、35万円と言えは会社では、責任者で幹部と言うか管理職で、1日10時間くらい働いている、また休みの日も仕事の事を思い暮らしているが、議員を見ていると、大半の方が他にも仕事を持っていて、どちらが本業かサイドビジネスか判らないが、そういう状況です。それで議員は市の方へは厳しく言われますが、自分達が身を正し、身を削る自覚が無いから自分達には甘い気持ちでいる。35万頂いている年間420万、賞与を入れて約550万、政務調査費36万、それと出張費やで年間650万使う、それを4年間で2,500万、たとえば15名で私はいいと思うが、条例の関係で16名で出来ると思う、6名減すと1億5千万、4年間、これを高齢者福祉、子供たちの教育、養育に使えばどれだけ市の為に

なるか、また市民の方が喜ばれると思う。会社の場合ですとたとえば1年間の景気かたりと、もう厳しいからこんだけでやって下さい、市議会の場合ですと15名でやって下さいと言ったら出来るとはいえない訳ですよ、その中でいかに自分たちが仕事を効率化し、またいらぬ仕事は省いてやらなければならないと思う、ですから誰もチェックしないから結局ああいう失態をやっても辞めないし責任も取らない。それで皆これからまじめにしようと、ほんとに厳しい井原地区の皆様の現状を認識したらもう少し自分達に厳しくして頂きたい、もしそれが出来なければ今度9月に自治連合井原市の集まりがありますので議員の定数を決める委員会を作って市長の方へ報告してそれに従ってもらうような厳しい姿勢にしていけないとだめだと思う。いまはいいが市民がそっぽを向きますよ。議会の方も、各地区は10名、各地区は何名と言われますが、そんな区も市議会に関心は無い。私たちもこれから子供たちのために身を正していけないといけないと思いますが本当に宜しくお願いします。

回答 本当におっしゃる通りでして、本日のような市民の声を聴く会というものは、かつては無かったものをしっかり議会としてもやろうと、襟を正してやろうと言う思いの中、議会基本条例を作った、条例の中で市民の声を直接聴こうと、時に言われますが、選挙が有る時にしか来ないと言われ反省するのですが、そういうことではいけない、まずは皆さんと顔を合わせて向き合って話をすると言うようなことで市民の声を聴く会を開催していますが、一つ一つ議会の改革をしていけないといけないということで議会活性化特別委員会色々皆さんの声を集めていかなければならないということで広聴広報特別委員会の2つを立ち上げました。そうした中で上の話しも踏まえて、また1,400名のアンケートの中で一番声の大きかった定数、報酬の件を真剣に協議をしました、市議会も襟を正すところはしっかりしていこうと市議会は初心に戻り考えていこうと、定数削減の声も頂いてますが、定数は逆に増えてもいいと言う声もある中で11回検討していく中で結論をだしました。今後のことは、これで終わりだとは考えてないので宜しくお願いします。

質問 協働のまちづくり推進事業、パートナーシップ・プロジェクトを推進していく中、行政と地区のパイプが太くなった、今は市議会の方より市のほうの方が開かれた市政となっているので出来ると思う。議員は市民の意見を聴くと言われましたが結局は自分たちの論理を通すだけで、去年の宮地さんの問題、乗藤さんの問題で2派に分かれてあら捜し、足の引っ張り合い、こういう事を市長を初め、誰か注意する人はいないのか、長老はいないのか、市民の方はどう思われますか、少数精鋭で15、16人でやるように、そして余ったお金を有効に使って頂く、それが民間企業のやり方です。

回答 パートナーシップの事業は議会の方からこう言う形がいいのではないかと意見をだしています。市長も皆さんの協働の町づくりと言うのをテーマに上げています。瀧本

市長も6つのテーマを掲げて実現していこうと今年度の予算に6つのテーマにもとづいた予算組みにもしています。執行部と市民の皆さんとの太いパイプが出来た事も議会としても喜んでいますが、議会も市民皆と顔を合わせて行くということも大事な事だと思っています。先程の二件の件ですが我々議会の、私個人としても反省すべきもので、大変申し訳なく思っています。私も議長経験者として止めることはしなかったのかというようなことですが、水面下で色々な事が動いたのですが止められなかったということで大変申し訳なく思っています。乗藤議員の件は絶対あるべきものでもないし許せるものでもない。無遅刻、無欠勤、無早退が基本であると思います、おっしゃる事に間違いございませんので深くお詫びを申し上げます。

質問 異常気象がある中、高屋川・高屋大橋の所の泥をとって頂きたい、川底を整備してください。ゲリラ豪雨の時には水路の堰板をちゃんと空けるよう水利組合の方に伝えて管理をして頂きたい、個別に管理が出来ないのか、堰板をしてしまったので水浸しになってしまった、市の方は関係ないと言って対応をしてくれない怠慢な職員がいる。市民のほうの安全安心の方もして頂きたい。

回答 ゲリラ豪雨が神石で降り、一時間後に小田川が氾濫したという例がありました。二年前に西江原でもあって水門を改修しました。高屋でも有るなら県と協議して対応していきます。今年防災計画の見直しに入っていますので、ハザードマップも含めて安全安心が保たれるように考えていきます。

質問 死のまちになってはいけないのでガレキを受け入れていかないとダメだと思います。

回答 国難ですので井原市議会としても色々な角度から検証していきます。

〈別紙2〉

※未回答

質問 4P（資料）の子宮頸癌ワクチンは危険で中止している国もありイギリスではワクチンをうった直後に中高生が倒れた、アメリカではワクチン接種後一週間以内に34人亡くなったり、インドでは危険だと言う事で取りやめた。ワクチンの成分中にペットの避妊薬の成分も入っているそうで人間も子供が出来なくなるという傾向もあるという危険なワクチンなので、摂取していない自治体もあり、ただで受けれるとなると皆が受けるので、私に中学生の女の子がいたとしても受けさせません。ヒブワクチンと小児用肺炎球菌は、今までのワクチンの10倍の死亡率があり、昨年3月の一週間のうちに8人が亡くなった例もあり一時中止にもなりました。3/11の震災後、ワクチンの状況を何も変えないまま3月の下旬に再開されたが2ヶ月の赤ちゃんが接種して亡くなった、その後の死亡した子供達は発表されていませんがとても危険なワクチンを市で奨励されているのもっと調べて使用して頂きたい。

回答 専門的な所でお聞きして、議会で議論し回答をしたいと思います。

質問 厚生労働省はエイズの血液製剤を危険だと知って使っていて2年間使い続けたので信じてはいない。

質問 父を68で亡くした、病院に良くしてもらったと思っていた、何年か後に私に異常があり病院へ行ったが家庭で休ませと言われたんです、本屋へ行って調べたらいろんな先生方が言葉では言えないとんでもない事を書いていたので大学病院や国は信用できない。国が言うのなら間違いがないというなら、今までタバコも売ってきた、国は我々体のことなど何も考えてない、経済的な利益の事だけしか考えていない、皆様方は議員で執行部ではない、議員の目としてそのあたりを判断して考えて頂きたい。

回答 真摯に受け止めて議会としての議論も必要ではありますが、関係国会議員にお知らせしたいと思います。

質問 国道486のNTTから井原大橋までの間のハナミズキに去年の12月、すき家のところ側、首が引っかかって怪我をした。CTを撮ったら脊髄の血管が切れ掛かっていると言われました。

回答 早急に担当部局から岡山県に要望させていただきます。

質問 さっきのワクチンの件ですが大原麗子さんや安岡力也さんがギランバレー症候群で亡くなりましたがこれはインフルエンザワクチンでなるものなのでヒブ、肺炎球菌、子宮頸癌ワクチンなどではなくて、本当に危険な劇薬なので、それを推進するよりも

会社を誘致したり仕事を作ったり、そう方に回して頂きたいと思います。子供を本当に健康にしたいと思うなら本来そういう劇薬とか、わざわざ血の中に入れるべきではないと思います。

回答 持ち帰り議論いたします。

様式第1号（第11条関係）

平成24年 5 月 30 日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第2班 班長 川 上 武 徳

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5 月 22 日（火）19時30分～21時20分
開催場所	西江原地区 「 西江原公民館 」
出席議員	川上武徳・藤原浩司・藤原正己・高田正弘・河合建志・三輪順治
参加者数	26 名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備 考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 5P（資料）新規の教育費の所、グラウンドゴルフ場の管理運営費は最低の芝の養生費とかそういうお金も見込んでいるのか9月以降の運営管理費なのか内訳。グラウンドゴルフ場の備品については毎年更新するのか、何を見込んでいるのか、初期投資だけなのか、昨年の管理費は一年間か半年間か、今後も毎年こういう形で計上していくのか。

回答 芝の養生は9月の養生といいましたが建設費にも加わっていますのでこの費用に対して別の費用であります。管理費523万円は9月からの運営費の座取りである、管理費つきましては動いていませんのであくまで座取りであり確定でない。備品等ですがスティック、ボール、ゲージ等の備品で来年度はいらないと思います。

質問 7P（資料）の使用料に対してはどうなっていますか。見込みだとか市内市外の使用に対する使用料を決めていると思いますが、どういう形で決めたのか、長期なのか短期なのか。

回答 福山市加茂町広瀬のグラウンドゴルフ場を基盤に使用料を参考に井原市で設定しています、まだ運営していないので未確定な部分もありますが当面この料金で進んでいきます。司会ではありますが総務文教に属していますので補足しますが井原市の試算では半年間で7,400人の使用を見込んでいます、1人一回が200円市内の方、年会費5,000円採算とありますが、健康増進施設スポーツ施設と言う観点から採算ベースもありますが、少し持ち出しで見ている。

質問 何億も掛かっているのに持ち出しといわれるのが、それで良いのか。

回答 用地に4億、造成等で2億円の6億円の事業、合併特例債を使っているので2,000万円程度が市民皆様の税金で賄っていくようになります。起債を使って、市民の税金を直接使わないのが基本です。採算ということで負担という説明をしましたが一般企業でありますれば採算ベースで考えますが、公共の健康増進のための施設でありますので投資したら必ずしも元を取るという考えは出来ない投資もあり、6億円の投資ですが、施設の性格上仕方がない。施設の性格上やむを得ない事もあります。

質問 商工費の中の事ですが、個々に載っていないのですが宜しいですか、祭りの補助金、与一の祭りの103万円と美星のふるさと祭り150万円とあり、「あれっ」と思いましての優先順位について議会の方はどのように感じて議会承認を取られたのか？

回答 祭りに格差をつけるということはないのですが優先順位はありません。

質問 井原市は単独で集めている 44 億の内訳をいくら使ってこうなっているのだというふうに細かく書いて頂く、内訳を細かくやっていただければ見やすく判りやすい。借り入れ等、予算の内訳をお願いします。詳しく国、県、市というふうにやって頂けると直接の税金をつかっているのだと判りやすい。

回答 資料の作り方に関しては、ご意見の趣旨を踏まえ判りやすく作らせて頂きます。

質問 歳出の中で西江原地区では、お知らせくんを配布していますが、大変不満をもっています、あんな物をいきなり来て設置する、何であんな物があるのか、それに対してとても不満があります。

回答 3年計画で総額で3億2、3千万円で、去年は井原、西江原区への設置をした、何故いるのかと言うことですが、市長の公約でもあり議会としてはお知らせ君に対しては税金を投入して設置したのですから使い方の工夫等も踏まえて運用については執行部へ伝えていきます。お知らせくんに関しまして、芳井町では竹下総理が各市町村へ1億円を配布しましたおり無線を配備しました防災のおりにとっても役に立ったということで、お知らせ君の配備をしました。

質問 井原放送を使っていますが防災の対応は今、取れていますか。このシステムで網羅できるのですか。

回答 そこが盲点でして、現段階では有線ですので線が切れれば使えない電源を切っていれば使えない、国やNHKでは災害時には強制的に電源が入るようなやり方で、無線をつかっています。総務委員長が言いましたように芳井で無線でやっていたので、今後無線での運用体系も含めていろんな災害における情報、手段を考えいろんな正しい情報をお知らせして行く為の第一歩がお知らせ君ですのでご理解をお願いします。

質問 議会だよりの中に報酬のことが書いてありますが、平成8年の頃と書いてあったのですが条例に、井原市特別職報酬審議会で市長へ言って審議会で市民も組み合ったところで決めたほうがいいと思います。仲間内でやったのでは前に進まない。審議会では下げることもあり上げることもある、横ばいもあり審議結果でやられないのは如何なものかと、どう思われますか。

回答 平成8年に今の金額が決まったわけですが、市長が召集していくもので、市長が委員を召集するものですが、平成8年から今のままであります。議会活性化特別委員会を立ち上げ何度も議論しました。定数にしても議論しました。今後さらに検討をしなければ、ならないかなと思っています。

質問 インフラ整備で、光ファイバーについてどのように思っている計画していますか。

回答 県内 15 都市あり光ファイバーがはいっていないのは井原市だけです。議会としても谷間があってはいけない、井原市として NTT へ市長が要望を持って要請をしまして、早ければ平成 25 年から光ファイバーに順次変更していかれます。

質問 当時は必要性があったと思いますが現在は必要性があるのかなど、一番安く提供が出来るのが市民にとって良いのではないのかと思います。

回答 情報の谷間になっては民間に支障を起こします。井原市との関係も踏まえ議論し答えますのでご理解下さい。

質問 5P(資料) 条例改正で井原市職員の定数改正条例で市民病院の職員が増えています。どういことでしょうか平成 25 年を踏まえてのことなのか、と思ったのですが病院改革プランや 25 年もあるのか中身を教えて下さい。

回答 いろんな施策の中で平成 20 年に地域医療等を考える特別委員会を立ち上げ病院内に保育園を設置し、女医、看護師が来やすいように取り組み実現しました。山田院長も積極的に取り組んでいる中、今の市民病院の施設ではこれくらいまで増やしてもいけるということで少しずつ看護師を増やすのではなく、ココまで増やす事が出来るよということで、積極な前進的な考えで平成 25 年のことも踏まえて議会も承認しました。補足で、増える職員は病院職員です。病院は診療報酬でお金を徴収し現在 20 数億円の年間の売り上げがある。一般会計の負担が 2 億数千万、皆さんの税金は 2 億数千万は市民病院に使われています。これは法律で決められたルールで市民病院にお金を差し上げています。これはへき地医療とか高度医療とか採算部門、こういった部門は政策的にお金が無いので行政一般会計が補填する、それ以外は病院ご自身で補填するからです。常勤医師 10 名で 23 億の売り上げというような病院は中々ないと思います。福山市民病院でも 100 人を越える医師がいて売り上げが 130 億円から 140 億円です。1 人の医師が年間 1 億数千万になります。井原の市民病院は福山市民病院の 1.2 倍もの売り上げになっている、病院企業職員を増やす条例は皆さんの健康、命を守るという側面と合わせ、先程出た病院改革プラン、来年度中、単年度プランは 25 年度から黒字になるであろうということで山田院長の献身的な発想で何とか黒字になろうかと、累積が 10 億円あり返していく中、皆さんにとってより親しめるように思い切った定数の増を提案されましたので議会としても議論しながら議決した。一般職員は減っています、しかし市民サービスに支障が無いように議会としても監視をしていきます。

質問 乗藤議員が議会を休んでゴルフに出ていることは法律的に何にも出来ないのか

回答 法的拘束力はありません。ここから先は本人が決めることなんです。

質問 本人は辞める気持ちは無いのですね。

回答 全員協議会の場で反省の弁を述べたので、今後議員として頑張るとの事でしたので我々はこれ以上何も言えません。

質問 新体操のまち井原という事で議員はどういう考えで位置付けをして、どのような考えでいるのか

回答 いばらを全国発信する中で大いに応援して行こうと思っています。興譲館の駅伝、柔道、剣道、野球にしても議会を挙げて一生懸命応援をしました。県大会や全国大会等へ出場する事で我々も力を頂きますのでサポートして行きたいと思っています。

質問 私はレベルの高い位置に設定しているように感じている、陸上とか野球はそれぞれの競技をするので少し位置付けが我々には判り難い、新体操のまち井原と言うと看板が結構大きいと思うがそれにしても動きが見えない、それが出来たというのは国体の時です、じゃ国体の時に新体操をはらびき皆がひっばってきたかというところではない。一番には弓道であり卓球であり力関係でよそへ取られて、言っでは悪いですがあんな格好になったと私は理解している。その辺のいきさつから言うと、例えば井原で何々のまち井原、というならもう少し違ったものが・・・あの全国レベルというのは今男子がやっていますが岡山県で1チームしかいない。新体操、中国地区が2、3チームでしょう、世界レベルは男子はこれからあってしないですし、いろんな問題を抱える中、大きい看板があっても動きがみえない、それでいいんだろうか、もう少し検討しないといけないんじゃないかという気がします。

回答 今年の教育費の予算に新体操への補助金 290 万計上してしっかりと市として応援しようということです。

質問 補助金の問題よりどういう看板を井原市は上げるのかということです、与一祭りとか色々ありますが大きな看板がありますがそういう看板の結びつきが無いので全国へ行くには力不足であると思う。

回答 先の総務文教委員会の協議内容で、国においてスポーツに対する法律が出来ました。現在岡山県がスポーツに関する基本計画を策定中です。総務委員会の中で教育長に対して井原市もスポーツに関するグランドデザインをお付けになったらという質問を某、議員が言われた、それに対して教育長は県の動きを見ながら検討していきますと言われた。新体操はもとより、井原市のスポーツをどうするのかというグランドビジョンデザインを検討するプロセスに入っていきます。岡山県もパブリックコメントをします、井原市のスポーツのあり方にしても議会としても注視し色々な注文をつけていきたいと思っています。

質問 市議会というものが開会され色々と議員さんが活発な意見が出るのは嬉しいことなのですが、歴代の議長さんが来ていますが議長経験者は質問しないというような話し合いが出来ているのか

回答 努力いたします。密約はありません。貴重な意見として努力します。

質問 議長経験者が一般質問をしないのはおかしい。

回答 いろんな意味を込めまして皆さんの声を聴きながら活動をしています、従いまして熟慮されると思いますのでご理解下さい。

質問 教育のことで全国へ出て行くのは興讓館の学校の姿ではないのか、スポーツも学力も人間的な子供の成長、姿も地域にとっても、とっても元気に挨拶をして市民に元気付けてくれる姿というのは教育の中に混沌とした日本全国的な状況を見ている中で、それをウスクする状況が興讓館で起きているのだなと思います。去年 12 月に決起大会がありました但他県からも多くの方が集まり 1,000 人以上の方が集まり井原の行政のリーダーの姿がなかった。一番抱えている井原市が大事なものが見えていないというのは残念です。福山で 6 月 1 日に県民文化ホールで興讓館の教育が凄い、どうしても地域に広めようという動きがある、小谷校長が模擬授業をされ、このようにすれば必ず子供達は変わるんだという提言をされた。矢掛でも子供塾が出来ている、興讓館の教育が他地域の方が欲しいと指示される。議員さんなどはどのように興讓館を思われているのか、県立や国立の場合は自然とほっといても続けられるが 160 年続いた興讓館をこのままほっといては大変なことになるのではないかと、議員さん達、是非考えてください。

回答 興讓館の文武両道は感銘しており議会としても応援していくつもりです。私学振興は地域のリーダーの姿勢にかかっていると思います、井原市のトップによく伝えます。

質問 興讓館の教育というものが日本の若い世代を育てる一つの成果が見られるものである、それを義務教育の中学校、小学校、幼児教育の段階でも目的を持って教育していくことはとても大事なことで井原市における行政の中に私学の興讓館の子供さんについて取り入れるとかという姿勢が無く、あれは私学だと余り関心をもっていなくて勝手にすればというような感じに思えた。160 年の歴史に対して気運が無い、興讓館卒業生だけでなく市民私達も心ある方達で応援したいと思う方も多と思うんです、それを吸い上げるものというのはやはり議員さんたちが立ち上がって皆さん応援して頂いて執行権もそれ上げして。新体操に 290 万応援するという事で、井原市の興讓館の私学助成はいくらですか？

回答 300 万です。

〈別紙2〉

※未回答

質問 実は、何が言いたいかというところとふるさと祭りは旧井原市内でというように考えた時には各地区たくさんあると思います、各地区という補助金はないと思うんです。ところが美星は150万円、西江原公民館を中心に町民の方から企業の方から信用を頂いた中でふるさと祭りが出来ていて、参加者も2,500人、そこが井原が先にと書いていなかったのですが、ふるさと祭りは井原市全体に目を向けて議論して頂きたいと思いますのでご要望して終わります。

回答 議会へ持ち帰りまして議論したいと思います。

質問 お知らせくんの青色の光がきつくて、テープを張って和らげているのですが、どうにかありませんか。

回答 担当部局へ申し伝えます。

質問 今の言い方では理解出来ない、議員、市長副市長の特別職の審議をするわけであり議員だけの報酬をするというものではなく特別職の報酬を審議するものなのでいろんな角度から審議しますから視野を変えて審議して頂きたいと提案して終わります。

回答

質問 井原放送へ出資していると聞いていますがどうなんでしょうか

回答 資本金が8000万で井原市が450万の株を持っています。井原市の第3セクターであります。提案として受け止めますので議会へ持ち帰り、整理し執行部とも協議し、皆さんにお知らせします。

質問 ワイファイを公民館や図書館などに設置したらどうですか？

回答 実は市議会もiPadであつたりを議場へ持ち込めることになりましたので一步前進していますので市役所の一階へもワイファイをしていくと思います。大変貴重な意見ですので議会で協議し回答します。

質問 井原鉄道の開始時期が大変ずれ込んできたのですが開業時点で耐震性はチェックされているのか、それ以後の耐震構造のチェックはどうなっているのか。

回答 耐震の問題は持ち帰り歴史的なものも含めお答えします。

質問 興譲館は県の財政難の折から県の私学振興は一律3割カットになりました、興譲館

にとってはいくらですかと聞きましたら7,000万ということです。一年間7,000万少なくなるということ由々しき事態。子供の数が毎年成人式を迎える数が500人くらい、生まれてくる数は250人くらい、ということはもう後15年先は井原の町はどうであるか、想定しながら手を打たないと厳しい事態だと思う。議員さんや執行部からそのような取組みの声を余り聴かない。井原市はどうされるのか?先人たちが歴史の流れの中で大変厳しい時代もあったけど地域で作ったボウコウですから何とかしようと知恵を出しあって今日まできた興讓館を我々の世代で放置するがゆえに歴史的、史跡として残すだけではもったいない、160周年だからこそ価値があるし日本の奇跡として明治維新と太平洋戦争後の経済復興があるとすれば戦前、江戸時代からの貴重なる教育の流れがあったから、それで人づくりが出来ていたのではないかと思うときに戦後教育の中に人づくりということが欠落していた、それを皆感じて何とかしなければと思うときに一つの心根としてやっていることを、スポーツのように一等二等と言うようにすぐに出てこないから直ぐには湧かないですが一番大事なことだと思います。東日本大震災の復興が第三の奇跡として世界から評価されるか、されないかは大変危ぐの念をもっています、やはり人づくり、人づくりは町づくり、町づくりは人づくり、そういった教育を是非変えて頂きたいと思います。

回答 持ち帰り担当委員会を中心に議論を深めます。

平成24年 5月14日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第3班 班長 藤原 清和

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5月 9日（水） 19時30分～21時00分
開催場所	芳井地区 「 芳井生涯学習センター 」
出席議員	藤原清和、森下金三、宮地俊則、馬越宏芳、上野安是
参加者数	12名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 笠岡市は、議員定数を24→22に減じている。

なぜ井原市は減じないのか。

回答 県下15市の比較等さまざまな検討をして現行どおりと決定した。

質問 表決は、議員の権利義務である。議決する際、退席（棄権）するのはおかしいのではないか。

回答 議員一人ひとりの考え、行動によるものであり、退席（棄権）も意思表示のひとつである。

質問 しっかり賛成・反対の討論をして、はっきりした意思表示をすべきではないか。（退席は開かれた議会にそぐわないのではないか。）

回答 賛成・反対・棄権が意思表示の手段であり何ら問題はない。

その他、井原地区商店街のごみ収集の現状についての問題提起がなされたがこれについては議会としての回答は控えた。

〈別紙2〉

※未回答

質問 予算は一括上程される。金額の大きなものについては個別に上程して審議することはできないのか。

回答 金額の大きなものという判断は難しいが、現在でも本会議の前、予算決算員会でしっかり議論をして議決している。

個別に上程できるか、後日調べて回答する。

質問 嘱託・臨時職員の給与は、平成17年度102人に対し27,412万円である。内訳はどうなっているのか。内訳を詳しく教えてほしい。

回答 後日調べて回答する。

平成24年 5月22日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第3班 班長 藤原 清和

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5月20日（日） 19時30分～21時30分
開催場所	大江地区 「 大江公民館 」
出席議員	藤原清和、宮地俊則、馬越宏芳、上野安是
参加者数	22名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 平成24年度当初予算消防費の内、小型動力ポンプ付積載車3台が計上されているが、単純に1台400万円なのか。

回答 1200万円を3台で割って1台400万円というわけではないが、仕様とすればほぼ同様のものである。

質問 介護保険料基準月額第6段階4,800円の対象者をもう少し具体的に説明してほしい。

回答 「本人が市民税非課税の人のうち、課税年金収入額+合計所得金額>80万円、かつ世帯員の中に市民税課税者がいる人」である。

質問 介護保険料はこれからも無条件にあがっていくのか。

回答 井原市でも高齢者が増え、介護が必要となる人も増えてくる。3年で見直しはするがあがってくることはまちがいない。

質問 薬代が高く感じる。薬の処方が適正かどうかチェックする機関はないのか。

回答 薬の処方、医師の専権である。

質問 グラウンドゴルフ場建設に6億円かけたのは、いかがなものか。無駄なかけ方ではないか。

回答 市民の健康福祉増進のための整備ある。

質問 議員定数は20にすべきではないか。

回答 こういった意見が出たことを議会に持ち帰り報告させていただく。

質問 議会の役割の中で

①議決した議案の執行状況はどのようにチェックされているのか。

②議会として条例や意見書等の議案を発議、提出されたことがあるのか

回答 ①定例会毎、予算決算委員会等でしっかりチェックしている。

②条例について

・修正案を提出し可決した経緯がある。

・「子ほめ条例」を提出可決した。

((提言・意見))

- ・活動していくうえで「やはり22名が必要だ」ということを市民に向けてしっかりアピールすることが大事ではないか。
- ・定数・報酬について「類似都市と比較して」というのはいかがなものか。しっかり役割を果たし「井原市ではこれだけのものが必要だ」という自信をもってもらいたい。議員への期待は、以前に比べはるかに大きくなっている。政策立案をしっかりしてほしい。
- ・女性議員も必要だと思う。
- ・耕作放棄地を有効に活用できるようにすべき。

〈別紙2〉

※未回答

質問 介護保険料第6段階が基本月額というのは安く見せるためのごまかしではないのか。
(第7段階が基準?)

回答 持ち帰って改めて回答する。

質問 前回質問したがそれに対する回答がしっくりこない。

〈大江地区NO. 5の内容〉

「計画路線」「要望路線」という表現はいかがなものか。そもそも要望にもとづいて執行されるべきではないか。

回答 持ち帰り改めて回答する。

質問 井原市では「木材利用促進法」にもとづく施策をどのように展開しようとしているのか。

回答 改めて回答する。

質問 大江残土処理場に残土等の仮置きはできないか。

回答 後日改めて回答する。

質問 残土処理場第1期工事が無計画に行われたのではないか。

(そのため植林しても成長しない。)

回答 持ち帰り、後日回答する。

質問 議会選出の農業委員の枠を農業委員不在地区にまわしてもらえないか。

回答 要望として承っておく。(制度を後日回答する。)

質問 沼川の藻葉の繁殖がすごく大変。できるだけ大勢の議員で現地確認していただき対策を考えてほしい。

回答 持ち帰り後日改めて回答する。

平成24年 5月28日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第3班 班長 藤原 清和

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5月 25日（金） 19時30分～21時15分
開催場所	荏原地区 「 荏原公民館 」
出席議員	藤原清和、森下金三、宮地俊則、馬越宏芳、上野安是
参加者数	44名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 地方交付税はどのように算出されるのか。要望すればもらえるのか。

回答 要望すればもらえるというものではない。

算出方法について

特別交付税については、計算基準は示されていない。

普通交付税については、国の基準単価は決まっており人口、面積、福祉等一定の計算基礎に基づいて算出される。

質問 議員報酬の推移は？

回答 平成8年以来変動なし。

質問 自主財源を増やすために箱根＝入湯税のように特産品、観光などに力を入れたらどうか。

回答 市にある資源を掘り起こし、全国的に拡げていく必要がある。皆さんといっしょにやっ払いこうと考えている。

質問 北条早雲を生かしたまちづくり。

北条五代の「NHKテレビ大河ドラマ」化推進について、荏原地区まちづくり協議会でも力を入れていこうと考えている。地域、市、市議会一体となった取り組みを考えてほしい。

回答 現在、建設水道委員会でも継続審査で取り組んでいる。

質問 北条早雲ドラマ化、パンフレットを作って旅行会社に配布し宣伝等をしてもらったかどうか。

回答 関係10市と連携をとる必要がある。井原市としてもしっかり発信していく必要がある。地元・市・市議会がまとまって前に進んでいくことが必要だ。

質問 辞職勧告を決議されたが強制力はない。どうもしっくりいかない。

回答 基本条例を制定したにもかかわらずこのようなことが起こりとても情けない気持ちはある。法的には有権者の1票を優先しており議員を保護しているともいえる。現時点では個人の判断に委ねられる。

質問 協働のまちづくりの進め方について（北条早雲）

- ・関心度が低く気運が盛りあがっていない。
- ・どこまで本気でやろうとしているのか。やる気ならその気でやってほしい。

回答 観光行政については、建設水道委員会を中心にしっかり検討していく。
※建設経済部を中心に横の連携をしっかりしてほしい。

質問 放課後児童クラブについて

- ①井原市のガイドラインが示されていない。
- ②荏原は小学校の空き教室を利用。北校舎の日照等について環境上の不満がある。議会でも荏原だけでなく他地区の状況も視察してほしい。

回答 ①本日、クラブの代表者に市のガイドラインが示されているところである。
②市民福祉委員会での現地視察を検討してみる。

質問 全員協議会とは？

回答 本会議に準ずるもの

- ・重要案件の事前説明を受ける場
- ・議員の意見を調整・集約する場

質問 ①各議員年1回は一般質問を

②的を得た質問・反問を

回答 ①②とも持ち帰り議会に報告させていただく。

〈別紙2〉

※未回答

質問 市債（公債費）の割合は、他市と比較してどうか。

回答 後日改めて回答する。

質問 ①小田川食堂⇔インテリア川井、国道南側の河岸法面の雑木を伐採してほしい。

②なかよし食堂前、下谷川・末国川合流地点にあるコンクリート橋のひび割れをどうにかしてほしい。

回答 ①②調査して後日回答する。

様式第1号（第11条関係）

平成24年 6月 1日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第4班 班長 井口 勇

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5月 9日（水） 19時00分～20時30分
開催場所	野上地区 「 野上公民館 」
出席議員	井口 勇、佐藤 豊、簗戸利昭、西田久志、森本典夫
参加者数	36 名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 荏原公民館も複合的な公民館にするのか、西江原は複合的公民館になっているが、荏原公民館の場合はどのように協議して、このような計画になったのか荏原幼稚園についてはどのような経緯で今回の計画になったのか。

国の方向性で幼稚園と保育園の複合が言われているがどうしてか。

回答 西江原公民館は保育園、幼稚園、公民館関係者の声を何回も聞きながら検討されて推進されました。荏原公民館、荏原幼稚園も各関係者や地元の声を何度も聞き検討した結果それぞれ単独の建設計画となりました。

質問 井笠地場産業振興センターは今後どのようなようになるのか。

回答 名称は井原地場産業振興センターと名称は変わるが、今までどうりの運営形態を継続します。

質問 緊急告知配信事業について「お知らせくん」はどのような物か、具体的にお知らせください。また、室内では聞けるが、外に居るときの対応は考えているのか。

回答 緊急告知端末ですので、注意喚起して緊急時の告知をするようになっています。

また、地元の行事なども告知できるようになっています。屋外の告知対しては今後の検討課題です。

質問 市道の白線が未整備のところがあるが、市のほうはどのように対応しているのか。

家の近くの道路整備の白線引きが残っているが、一方を引いたのだから、ついでに片方も引けばよかったのでは。

回答 道路維持費の予算に白線の分も含まれているので、自治会を通じて要望をして頂ければと考えます。担当課に知らせますので場所をお知らせください。

質問 政治倫理条例が施行されての今回の件についてお詫びが無い。今日までの経緯にてお知らせください。班長のお詫びの弁があってもいいのでは。

回答 班長がお詫び

質問 震災がれきの受け入れに対する市の対応について

回答 国から受け入れ要望があったが、福島原発事故での放射能の影響を考慮し慎重に検討、現状では受け入れる方向に無い。また、市の残土処理場の状況も有り受け入れの方向に無いと聞いている。

〈別紙2〉

※未回答

質問 土木費、道路新設改良費の市の負担割合はどのようになっているのか。

回答 持ちかえり、調べてお答えします。

質問 相原公園植栽は何を植えるのか。

随意契約か競争入札か。明治池の菖蒲を植えたが6割が枯れた、県に聞いたら一年以内に3割以上枯れた場合は、新たに植栽するようになっているが、業者が適切な対応をしていない、こうした場合の対応について聞きたい。

回答 さくらを植栽します。

持ち帰り、契約について、植栽後に多くが枯れた場合の対応については調べて報告します。

質問 井原放送は第三セクターか、広島県へ独自に放送網を引いているどうしてか、12億7千万を出しているのに市に相談は無いのか、新聞に掲載の予算では2億7千万とあるがこの説明には1億2千万とあるがどちらが正解か。

回答 持ち帰りお返事します。

質問 インターネット光が井原に入っていないのは何故か、井原放送を守るためか。

回答 持ち帰りお返事します。

質問 緊急告知「お知らせ君」は無料だからとっているが、われわれの税金だ、芳井、美星の有線や防災無線の活用を充実すればよいのではないのか。

回答 持ち帰りお返事します。

質問 野上地域でもアンテナを上げればテレビは出るのではないのか。

回答 持ち帰りお返事します。

質問 井原市内で生活保護を外国人で受けている人がいるのか、また、外国人の市内在住者は市内に何人いるのか、また、把握をしているのか生活保護の支給は厳正に対処してほしい。

回答 持ち帰りお答えします。

質問 回答書6番 要望の実現に尽力を。

回答 市に陳情、要望を上げてください。

質問 有害鳥獣イノシシ対策として特区制度の導入が可能なら取り組んでもらいたい、また、様々な補助制度の拡充等の検討もお願いしたい。

近隣市町村との協力で特区へ対応してもらいたい。

回答 持ち帰り執行部に伝える。

様式第1号（第11条関係）

平成24年 6月 1日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第4班 班長 井口 勇

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5月 16日（水） 19時00分～20時30分
開催場所	井原地区 「 井原公民館 」
出席議員	井口 勇、佐藤 豊、竇戸利昭、西田久志、森本典夫
参加者数	24 名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 小田川の防災訓練は何処で実施するのか。

回答 本年度は芳井地区内で実施。

質問 議長副議長選で立候補していない人の投票は無効ではないか。

回答 地方自治法で投票は有効となっています。しかし、わかりにくいとの声もあり、議会の申し合わせで、次回からは立候補した人以外には投票しない方向で決定している。

質問 介護保険料率が17%上がったが、審議は充分されたのか。

回答 議会便りに経緯が掲載されているので見てください。

質問 市民は大変な思いで生活している。そうした思いをくみ取り市の予算は支出を厳密にした予算を作ってもらいたい。

回答 執行部に声を伝えておきます。

質問 地元の議員の参加を。「お知らせくん」でのお悔みの言葉の表現を丁寧に。

回答 お悔やみの言葉の訂正は担当課に伝える。

〈別紙2〉

※未回答

質問 井原市の予算の健全性は県内で何位ですか。市の健全化基準率は。また、一人当たりの資産、負債、純資産についてお聞かせください。

回答 持ち帰り調べて報告します。

質問 都市計画税は何に使われているのか、旧井原市の計画的な都市計画のためにも税金を使ってほしい。

回答 持ち帰り、詳しく調べて回答します。

質問 議長・副議長選は全国的取り組みか、井原独自の取り組みか、また、倫理条例に違背した人に対する議会独自の辞職に向けた罰則規定は作れないのか。

回答 基本条例策定時に井原市議会として決めた。
今後の課題として持ち帰る。

質問 議員定数に下限は決まっていない、近隣市は定数減をしている。その点を充分考慮すべきだ。また、議員は本来やるべき仕事を充分やってほしい。納税者の立場を考えて痛みを感じた議員活動をしてほしい。

回答

質問 桜堤のさくらの枯れ枝の処理を充分にしてほしい。

回答 桜の枯れ枝の処理について担当課に伝える。

質問 定数は現状でと報告があったが、再度、議会活性化特別委員会を開催し検討してはどうか。

回答 持ち帰り全議員に知らせる。

質問 定数について市民の声を聞く必要がある、議員、有識者だけの声を大切にすることでなく、公民館単位で開催し市民の声を聞くのが本来のあるべき姿ではないか。

回答 持ち帰り全員に知らせる。

質問 地蔵平の活用方法を今後どのように活用するのか。

面になるような土地の状況にない、利用についての行政の声を聞きたいとの意見があった。

回答 持ち帰り担当課に伝え、お答えする。

様式第1号（第11条関係）

平成24年 6月 1日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第4班 班長 井口 勇

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5月 19日（水） 19時00分～20時30分
開催場所	美星地区 「 美星公民館 」
出席議員	井口 勇、佐藤 豊、竇戸利昭、西田久志、森本典夫
参加者数	96名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 衛生費 太陽光発電システムの何戸分か。

回答 134戸 1キロワット3万円 上限12万で1500万円です。

質問 報酬額は平成8年から変わっていないのか。

回答 変わっていません。

質問 太陽光発電の特区制度の導入の動きはあるのか

回答 今のところない。

質問 政務調査費は適正に監査、審査をしているのか。

回答 使途基準を基本に対応している、事務局で閲覧が可能です。

質問 報酬の35万は全支給されているのか。

回答 35万から税金を引かれている。

質問 県道的美袋井原線はほとんど完成しているが、田輪の池のところの道路の現状でよいのか。

回答 現状まだ工事中であり、仮設舗装であり今後完成する。

質問 美星の特定住宅に市民は入居できないか、人口対策につながるのでは。

回答 職員住宅は、診療所職員の確保対策の一環として、旧美星病院が起債により建設したものであり、その目的は現在も変わっておらず、今後の入居も予定されており、一般市民を入居しうることには出来ない。

質問 市長選と市議選を同日日にしては

回答 ご意見として持ち帰ります。

質問 カーブミラーの設置をお願いしているが1年たっても出来ていない。

回答 早急に担当者に伝えておく。

〈別紙2〉

※未回答

質問 土木費 小さい川がイノシシや大雨で被害があるが河川維持費で対応してもらえるのか。

回答 執行部に聞いてお答えします。執行部に聴き報告します。

質問 トウトウ橋付近の河川が大雨で土砂が堆積して困っている浚渫は出来ないか。

家の周りの通学路の古い松の除去について、所有者が他市に住んでいる場合の対処を考えてほしい。

質問 市営住宅（美星地区）も建設して35年が経過している、当初家賃は25年で割って算定していると聞いているが家賃の引き下げは出来ないか、また、家賃の引き下げで入居者を増やしては。

回答 持ち帰り執行部に伝える。

質問 美星町だけを太陽光発電の特区に出来ないか

回答 ご意見として持ち帰ります。

質問 美星の自治公民館の耐震化の推進を

回答 執行部に伝えておきます。

質問 意見箱の内容・答えをまとめて報告してほしい。

回答 対応してまいります。

質問 畑地かんがいのパイプの取替えについて、老朽化しているので早めの交換をしてほしい。

回答 担当部所に伝える。

質問 豪雨などによる山崩れや土砂崩れが美星町でも予測される、百葉箱で観測した雨量情報を早めに知らせてほしい。

回答 持ち帰り済ます。担当部署に伝えます。

様式第1号（第11条関係）

平成24年 6月 1日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第4班 班長 井口 勇

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成24年 5月 22日（水） 19時30分～21時00分
開催場所	稲倉地区 「 稲倉公民館 」
出席議員	井口 勇、佐藤 豊、竇戸利昭、西田久志、森本典夫
参加者数	12名
主な意見 要望等	※回答済み 〈別紙1〉のとおり ※未回答 〈別紙2〉のとおり
備考	

〈別紙1〉

※回答済み

質問 わな免許取得費用補助について聴きます。今回の補助は新規にわな免許を取得する人の為なのか。農地を守るために自分で取得したが3万円かかり、更新費用も必要である。

回答 新規だけです。4,000円で10人分の予算、取得希望者への応援費用としての補助制度です。

質問 反問は同一質問で何度か出来るのか。

回答 出来ます。

質問 議会の不祥事についての議会で細かな対処は出来ないのか。

回答 経緯を説明

質問 子ども議会の開催はあるのか、年に何回かあるのか。

回答 子ども議会・女性議会は過去に開催、今後は、市民の要望を聞きながら検討していく。

〈別紙2〉

※未回答

質問 パートナーシップ事業の考え方をどのように捕らえればいいのか、地区まちづくりの運営支援補助、活動支援補助で充分と考えているか。人口割を加味した予算化としては。

質問 稲倉公民館建設予算について

稲倉公民館建設に際し地元のわれわれと充分協議を開いて最終結論がでてからの公表であるべきではないか、結論がでていないのに予算配分したり、発表するのはおかしいのではないのか。

質問 市民の声を聞く会の開催予定日の決定は議会側だけの都合ではないのか。地元の実情をよく聴いて開催日程を決めてほしい。自治連合協議会の声を聴いて実施することが良いのではないのか。

回答 後日、次回開催の方法を連合協議会長と公民館長と協議の上で決定する。

質問 井原市議会の報酬は貰うものは貰って、やることはしっかりしてほしい。

回答

質問 イノシシに何を作っても被害にあう、市の対応と今後の対策は。

猟友会加入時に駆除員になる町、美作市では処理場を完備している。イノシシ一頭についても助成金があると思うが、補助金は猟友会にまる投げしている。他市の取り組みを参考にして柔軟な対応をしてほしい。

回答 持ち帰り検討する。

質問 鳥獣対策として耕作放棄地への対応が効果があると思うが、地主も高齢化したり地主もよそに住んでいるので、行政の補助で草刈をすることは出来ないか。

回答

質問 通学路の長年の課題として残っているところの解決策を議会で取り組んでほしい。

回答 研究させてください。

質問 通学路に民間の山の危険木が覆いかぶさっているが、今回の予算計上されている中で対応ができるのか。

回答 持ち帰り検討させてください。

質問 今春、大学・高校卒業者の市内就職状況について。議員は把握しているのか、少子高齢化の中で若者が働く場所の確保が将来の井原市を支えると思う。そうした観点から、井原市の定住促進対策や企業誘致の取り組みについて市や行政はどのように考えているのか。地場産業を育成するため企業誘致を行はなかったことがあったと聴くが情報収集の体制を矢掛町では都市圏に拠点を置いてやっている。

回答 調べて報告させていただきます。